

令和8年度 はなまきの 予算

本市の令和8年度の予算が市議会3月定例会で承認されました。
皆さんに納めていただいた税金をどのような事業に使う予定か、
その概要をお知らせします。

- ④ **保育環境などに対する支援**
保育料は、第2子以降の3歳未満の無償化などを継続し、子育て世帯を経済的に支援します。
また、矢沢地区義務教育学校の施設整備に関連して、矢沢児童クラブの新たな施設整備に向けた基本設計と用地取得に着手します。
- ⑤ **こども誰でも通園制度の実施**
保育園などに通っていない子どもを対象に、保護者の就労要件を問わず、時間単位で保育園などを利用できる「こども誰でも通園制度」を4月から開始し、保護者の育児負担軽減を図ります。
- ⑥ **奨学金制度の継続**
市独自の奨学金制度である「はなまき夢応援奨学金」や「花巻市奨学金」を継続します。
また、多くの人が利用している日本学生支援機構が貸与する奨学金に対する市独自の返還支援制度をはじめとした、各種奨学金返還支援制度も継続します。

医療費助成事業 5億8,597万円 問い合わせ:本館国保医療課(☎41-3584)

市内の乳幼児、小中学生、高校生、妊産婦などの医療費助成を行い、医療機関窓口での支払い負担を軽減します。



※市では、市内の乳幼児、小中学生、高校生、妊産婦などの医療費助成について所得制限を撤廃しており、市内の全ての子どもや妊産婦などが医療費助成の対象となっています

学校給食費負担軽減事業、副食費負担軽減事業 4億9,860万円 問い合わせ:教育委員会学務管理課(☎41-3145)、新館こども課(☎41-3149)

小学校の給食費について、本年度から完全無償化し、中学生の給食費は、食材料費の価格高騰分を市が負担し、保護者負担額の据え置きを継続します。また、3歳以上の副食費について、第2子以降の無償化、第1子の一部支援を継続します。

小学校の給食費について、本年度から完全無償化し、中学生の給食費は、食材料費の価格高騰分を市が負担し、保護者負担額の据え置きを継続します。また、3歳以上の副食費について、第2子以降の無償化、第1子の一部支援を継続します。



事業名	予算額	内容	問い合わせ
産前・産後サポート、産後ケア事業	5,008万円	母子の心身の健康をサポートする「産後ケア事業」、「産前・産後サポート事業」を継続します。また、新たに開設される宿泊型産後ケア施設(1施設)、日帰り型産後ケア施設(1施設)に対し、開設に係る準備費用を補助します	こども家庭センター(☎41-3609) 地域医療対策課(☎41-3590)
周産期医療確保対策事業	1,129万円	安心して出産できる環境を維持するため、市内産科医療機関に就職した産科医師・助産師・看護師、市内産科医療機関への支援を行います	地域医療対策課(☎41-3586)
妊産婦交通費支援事業	599万円	妊産婦の通院や入院を対象に公共交通機関、タクシー、自家用車などの交通費を支援するほか、待機宿泊に要した宿泊費などを支援します	こども家庭センター(☎41-3609)
児童手当・児童扶養手当支給事業	18億9,722万円	高校修了前の児童を養育している家庭、ひとり親家庭に対し手当を支給します	新館こども課(☎41-3149)
小学校施設維持事業 中学校施設維持事業	3億4,350万円	良好な学習環境と安全・安心な学校運営のため、小中学校施設の維持管理や長寿命化対策を行います	教育委員会教育企画課(☎41-3142)
保育園等運営費	44億3,398万円	公立および私立の保育園、こども園などで就学前の児童を保育します。新たに「こども誰でも通園」を市内5園で開始します	新館こども課(☎41-3150)
妊産婦および乳幼児健診	8,116万円	安心安全な妊娠・出産と乳幼児の健やかな成長を支援するため、新たに5歳児健診を開始するなど、各種健康診査を実施します	こども家庭センター(☎41-3609)
公園整備事業	5,926万円	戸塚森森林公園の施設更新や上諏訪公園の芝生整備などを行います	新館都市政策課(☎41-3570)

■「骨格予算」として編成
本年度の当初予算は、予算編成期に市長選挙が行われたため、人件費などの義務的な経費に、市民生活に直結する福祉や教育をはじめとした、毎年継続的に実施している事業の経費を加えた「骨格予算」として編成しました。ただし、新規の政策的な事業であっても年度当初から速やかな対応が求められる事業については、骨格予算に盛り込みました。

■予算総額は約581億円
本年度の当初予算の総額は、581億2914万円です。これは、先述のとおり「骨格予算」として編成しているものの、継続事業としてJR花巻駅東西自由通路等整備事業や新花巻図書館整備事業などの大型事業を計上したため、令和7年度に次ぐ2番目の規模です。

■追加分は「肉付け予算」へ
この骨格予算に加え、さらに重点的に取り組んでいく施策や政策的な経費については、市長公約を踏まえ、第2次花巻市まちづくり総合計画前期アクションプランに掲載している事業のローリング(見直し)などの検討を進めながら、早い時期に補正予算として計上する予定です。

子ども・子育て応援プロジェクト

① **母子の心身のケアの充実**
これまでの日帰り型の産後ケア施設に加え、6月に宿泊型、8月に日帰り型の産後ケア施設がそれぞれ1施設開設されます。これにより、母子の心身のケアや子育てに関する悩みについての相談支援をさらに充実させます。

また、妊産婦が産科医療機関を利用する場合の交通費支援、入院、待機宿泊に対する支援のほか、市内産科医療機関に就職した医師・助産師・看護師に対する支援を継続し、周産期医療の維持確保に努めます。

② **医療費などに対する支援**
所得制限を設けることなく、市内の高校生年代までの全ての子ども、妊産婦を対象にした医療費助成を継続します。

また、新たに5歳児健康診査を実施し、家庭や保育園などと連携し、子どもの特性などに応じた適切な支援につなげます。

③ **給食費や副食費に対する支援**
小学校給食費の完全無償化を実施